

山形県遊佐町沖における着床式洋上風力発電事業に係る 環境影響評価方法書の届出等について

2021年12月27日
関西電力株式会社

当社と、丸紅株式会社が共同で、山形県遊佐町沖において、着床式洋上風力発電事業の開発に関する検討を進めています。その開発可能性調査のため、環境影響評価法等に基づく、「(仮称) 山形県遊佐町沖着床式洋上風力発電事業計画段階環境配慮書※」(以下、配慮書)およびその要約書を2021年1月13日に、経済産業大臣、山形県知事、遊佐町長および酒田市長に提出しました。

※環境の保全について適正な配慮をするべき事項について検討を行い、その結果をまとめたもの。

[\(2021年1月13日お知らせ済み\)](#)

同海域沖での洋上風力発電事業は、複数の事業者が同時期に環境影響評価の手続きを進めているため、自治体等の関係者にとって、本手続きが重複し大きな負担になることから、山形県から同海域沖での洋上風力発電事業における環境影響評価法の手続きを、可能な限り事業者で集約するよう要請がありました。

これにより、先般、丸紅株式会社と提出した配慮書を廃止し、事業者で集約化するとともに、本日、環境影響の調査方法、予測および評価方法等をまとめた「(仮称) 山形県遊佐沖洋上風力発電事業環境影響評価方法書」およびその要約書を「遊佐沖洋上風力発電に係る環境アセスメント共同実施コンソーシアム」で共同作成し、経済産業大臣に届出を行い、山形県知事、遊佐町長および酒田市長へ送付しました。

当社は引き続き、地域の皆さまや関係行政機関からご意見を賜りながら、本事業の開発に関する検討を進めてまいります。

当社グループは、ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、2030年代に国内外で再生可能エネルギー電源の設備容量600万kWを目標に、200万kW以上の新規開発に取り組んでおり、今後も引き続き地域の皆様方のご理解を賜りながら再生可能エネルギーの普及・拡大に貢献してまいります。

<山形県遊佐町沖着床式洋上風力発電事業の開発計画(概要)>

項目	内容
事業者	関西電力株式会社、丸紅株式会社
場所	山形県飽海郡遊佐町沖 ^{あくみ}
設備規模	出力 最大450,000kW (9,500~15,000kW級風力発電設備最大52基)